

第29回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会 見所
2018年11月24日(土) 後楽園ホール 主催 日本テコンドー協会

中学生組手無差別級

(面胴着用・突き回し蹴り禁止等 中学生ライトコンタクト・テコンドー・ルール)

健矢

森 慎治の2連覇を止めるのは誰か？ 鎌田健矢に注目

本種目のエントリーは8名。

鎌田健矢(湘南平塚跆拳道倶楽部、15歳)、 加藤瑛太郎(東京城南雑色跆拳道クラブ、13歳)
三富朝日(湘南平塚跆拳道倶楽部、15歳)、 中道孝汰(東京城南雑色跆拳道クラブ、14歳)
武田龍倭(東京城南雑色跆拳道クラブ、13歳)、久保田孝平(佐賀小城跆拳道倶楽部、12歳)
木下颯太(湘南平塚跆拳道倶楽部、14歳)、森 慎治(福岡筑紫野跆拳道クラブ、15歳)

昨年度、第28回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会において
A級男子組手に次ぐ高い評価を得たのが、中学生男子無差別級であった。

河明生会長によれば

「将来、彼ら中学生蹴士が持続的に精進すれば、この中からA級男子組手優勝者が必ず出る」
と期待されるほどレベルの高い選手が揃っている。
すべての試合で蹴美の好ファイトが期待できる。

前大会優勝者は、森 慎治(福岡筑紫野跆拳道クラブ)。中学生最後の全日本大会で2連覇を狙う。
誰が森の連覇を止まるのかにある。

河会長が注目するのが、鎌田健矢(湘南平塚跆拳道倶楽部)である。

気迫十分で、蹴りの威力が増しており、総見で他の選手を圧倒しているからである。

(ただし、中学生組手のライトコンタクト・テコンドー・ルールを守らないと反則負けになるので注意を要する)



今年こそは、
全種目で優勝できるように頑張ります。



中学生 最後の全日本なので 後悔のない試合をします。
絶対優勝します。